

平成 26 年 11 月 14 日

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループ
(コード番号 8306)

平成 27 年 3 月期中間配当ならびに平成 27 年 3 月期期末および年間配当予想の修正について

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループ（取締役社長 平野 信行^{ひらの のぶゆき}）は、本日開催の取締役会において、平成 26 年 9 月 30 日を基準日とする普通株式の中間配当を行うこと、ならびに平成 27 年 3 月期の普通株式 1 株当たり期末および年間配当予想を修正することにつきまして、下記のとおり決議しました。

記

1. 平成 27 年 3 月期中間配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (平成 26 年 7 月 31 日公表)	前期実績 (平成 26 年 3 月期)
基準日	平成 26 年 9 月 30 日	同左	平成 25 年 9 月 30 日
1 株当たり 配当金	9 円	8 円	7 円
配当金の総額	127,515 百万円	—	99,145 百万円
効力発生日	平成 26 年 12 月 5 日	—	平成 25 年 12 月 6 日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

2. 平成 27 年 3 月期配当予想の修正内容

	1 株当たり配当金 (円)		
	中間期末	期末	年間
前回予想 (A)	8 円	8 円	16 円
今回修正予想 (B)	8 円	9 円	18 円
当期実績 (B)	9 円	9 円	18 円
増減額 (B-A)	+1 円	+1 円	+2 円
前期実績 (平成 26 年 3 月期)	7 円	9 円	16 円

3. 理由

当社は、株主の皆様への利益還元を重要な経営課題と位置づけ、企業価値の持続的な向上と企業体質の更なる強化をめざしつつ、配当金の継続的な増加に努めることを基本方針としております。業績等を総合的に判断した結果、平成 27 年 3 月期の中間配当を従来予想の 1 株当たり 8 円から 1 円増額して 9 円に決定しました。また、期末配当予想も前回予想の 1 株当たり 8 円から 1 円増額して 9 円に修正しました。これにより年間配当は 1 株当たり 18 円となり、前回予想および前期実績から 2 円の増配を予想しております。

以 上

本資料には、当社または当社グループの業績、財政状態に関する予想、見通し等の将来に関する記述が含まれています。かかる記述は、現時点における予測、認識、評価等を基礎として記述されています。また、将来の予想、見通し等を作成するためには、一定の前提（仮定）を使用しています。これらの記述ないし前提（仮定）は、その性質上、将来そのとおりに実現するという保証はなく、客観的には不正確であったり、実際の結果と大きく乖離したりする可能性があります。そのような事態の原因となりうる不確実性やリスク要因は多数あります。その内、現時点において想定し得る主な事項については、最新の決算短信、有価証券報告書、ディスクロージャー誌、**Annual Report** をはじめとした当社の公表済の各種資料をご参照下さい。